

MOBOTIX JAPAN

2020年3月26日

製品情報

MOBOTIX JAPAN
株式会社K.J.フェロー

231-0011
横浜市中区太田町6-85
RK Cube 4F
T 045-227-6285
F 045-227-6286
www.mobotix-japan.net
www.kjfellow.com



2020年3月

- 世界初: MOBOTIX 7 システムプラットフォーム インテリジェントプラグインAPPコンセプト
- MOBOTIX M73 ハイパフォーマンスIoTカメラ
- MOBOTIX 7 システムプラットフォーム用カメラ統合App
- MxManagementCenter(MxMC) バージョン2.2

1. 世界初: MOBOTIX 7 システムプラットフォーム インテリジェントプラグインAPPコンセプト



赤、緑、青。3つの基本色をミックスするだけで、スクリーン上にすべての色を作り出すことができます。MOBOTIX 7のオープンビデオシステムプラットフォームも同様に無限です！ カメラに直接テラーメイドのAppを入れることで、考える全てのアプリケーションを表示することができます。フレキシブルで、無限、オープン。このハイエンドのテクノロジーは、新しいモジュラーIoTカメラ M73に実装されています。これは、これまで以上に多くの可能性を開きます。インスピレーションを与え、ビデオ監視に革新をもたらします。-ビデオ監視だけでなくより多くのアプリケーションが可能になります。

システムプラットフォーム: MOBOTIX 7 インテリジェントなエッジビデオテクノロジーの新しいスタンダードを設定

ネットワークベースのビデオテクノロジーは、ワールドワイドの標準として、アナログビデオテクノロジーにとって変わってきています。いくつかのアジアの大量生産企業のアグレッシブで、単なる価格主導のマーケットは終わりました。セキュリティの不備（企業全体のネットワークに侵入するためのゲートウェイとしてハッキングされたカメラ）により、世界的な -時には巨大な -被害が、再考の誘因となっています。ビデオシステムの全ての経済価値と利益は、現在、表舞台に戻ってきました。



競争における違いは、人工知能 (AI)、ディープラーニング (DL)、サーバーセキュリティ、データ保護 (GDPR)、ソリューション志向の製品と顧客満足のようなトピックが主なものとなっています。MOBOTIXは、MOBOTIX 7により、マーケットに新たなカメラシステムのプラットフォームをもたらします。サイバーセキュリティにおける安全性、長年開発をしてきている分散型アーキテクチャー（エッジテクノロジー）により、実践志向のディープラーニングの要件に、完全に適合しています。

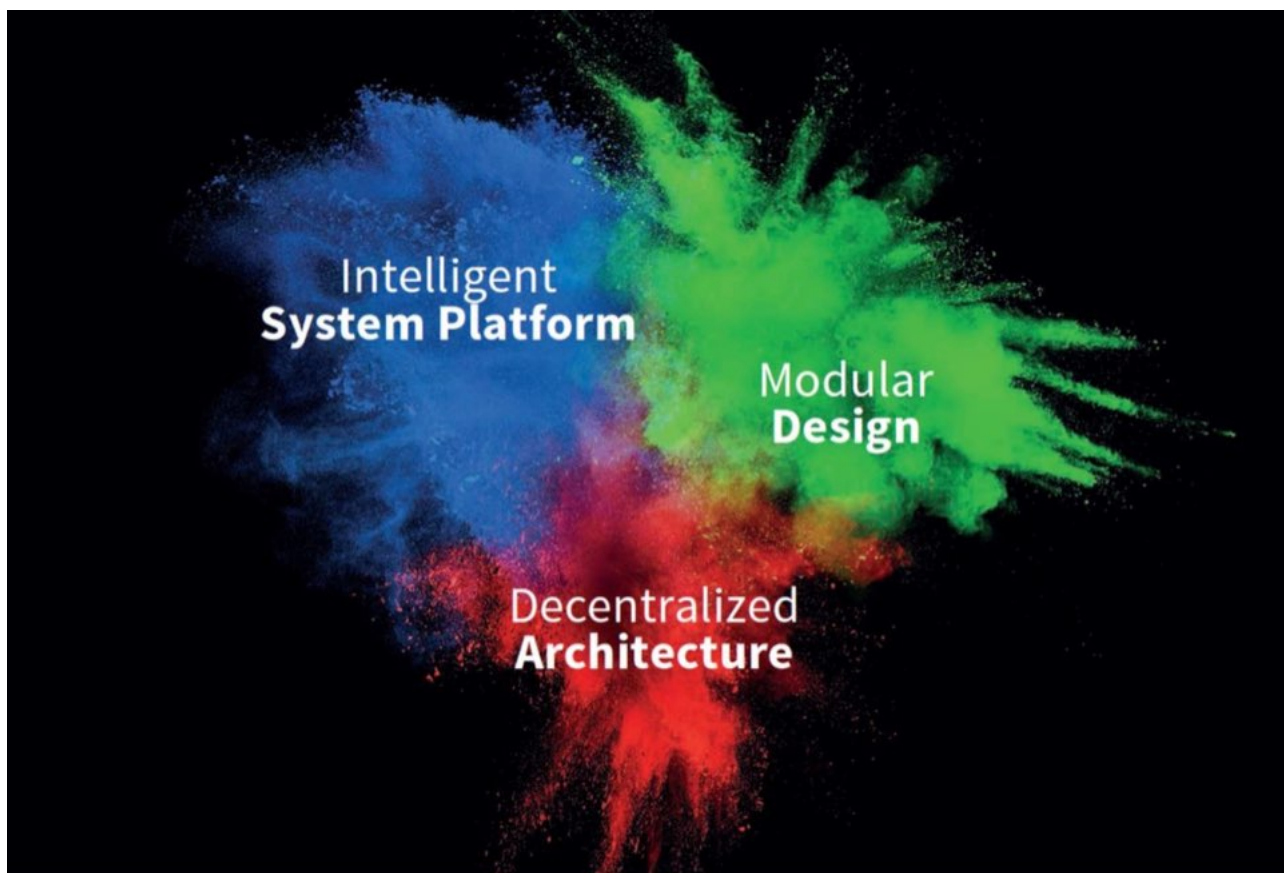
新しいMOBOTIX 7システムプラットフォームは、テクノロジーパートナーであるコニカミノルタとの緊密な協力の下で開発され、MOBOTIXのAIベースのアプリケーション・ソリューション”Beyond Human Vision”（人間の視覚を超えて）の要となります。MOBOTIX 7プラットフォームを持つカメラのアプリケーションの最先端の解析方式は、ユーザーの処理効率を上げ、新たなビジネスや売上のモデルを開拓するための一助となるでしょう。カメラのソフトウェア・アップデートがある度に、ディープラーニングあるいはマシンラーニングをベースとした新しいアプリケーションや完全に新しい機能が、次々に利用可能となり、日々の問題を予防し乗り越える助けとなるでしょう。

MOBOTIX 7プラットフォームで利用可能なアプリケーションコンセプトは、現在マーケットで利用可能なものを遥かに超えています。例えば、経験豊かなMOBOTIXのパートナーまたはエンドユーザーは、カメラの1つのカスタムアプリケーションとして、独立した機能を持つ1つのアプリケーションをプログラムすることができます。それは、タブレットやスマートフォンのようなモバイルデバイスのためのアプリケーションの開発のようなものです。自動プログラミングの代替として、MOBOTIXのスペシャリストによりプログラムされたカスタムのアプリケーションを持つこともできます。

MOBOTIXのパートナーやエンドユーザーに多種多様なアイデアやニーズは、MOBOTIX 7プラットフォーム用の新たなアプリケーション・ソリューションの基礎となります。完全にオープンで、ダイナミック。ユーザーのニーズにピッタリ合います。

各々のアプリケーションの技術的なトップパフォーマンスは、特筆に値します。これは、MOBOTIX 7カメラのアプリが既に画像作成チェーンに介入しているため、プログラマブルロジック（非同期アプリケーションテクノロジー）と同様に非常に高いCPUおよびGPUのパフォーマンスとを含む、システムのパフォーマンス範囲全体を常に使用できるためです。
- 時間のロス無くリアルタイムで。

新しいMOBOTIX 7プラットフォームをベースとした最初の製品は、認定MOBOTIXアプリケーションの多くの選択が可能なMOBOTIX M73ハイパフォーマンス IoT カメラです。シンプルなライセンスモデルをベースとして、これらのアプリケーションは、モジュラーやフレキシブルなエッジアプリケーションとして、各々のM73で直接使用できます。- 恒久的なネットワーク接続がない状況でさえ(PoE+インジェクター/スイッチ経由での電源供給を除いて)、周知のMOBOTIXの伝統である分散型システムで使用できます。



2. MOBOTIX M73 ハイパフォーマンス IoTカメラ



3種のモジュールを搭載可能な新しいM73。M73は、MOBOTIXが作り上げた中で最上で最も革新的なIoTビデオシステムです。伝統を継承。未だに完全に新しくユニーク。M73は、そのパワフルなクワッドプロセッサ(現行のM16の2.2倍以上のパワーと4倍以上のRAM)により、非常にコンパクトで、フレキシブルで、非常にパワフルです。ハイパフォーマンスIoTカメラは、最初の段階では、3種のセンサーまたは拡張モジュール(最大2種の光学画像センサー)のためのスペースを提供します。- 既存のM16とS16のモジュールと同じ外形ですが、M73とは互換性がありません。MxManagementCenterバージョン2.2以降は、無償のVMSとして利用可能です。

製品詳細と特別な優位性

MOBOTIX M73は、分散型であり、サイバーセーフで、最新世代のモジュラー式IoTビデオ監視システムです。新しいMOBOTIX 7システムプラットフォームをベースとして、M73のオーナーは、カメラのファームウェアにすでに統合されている多くのAIベースのアプリケーションにより利益を得られます。それは、各々利用可能となり、要求どおりに使用可能です。M73はまた、4K画像センサーモジュール(デイ、ナイト、赤外線カットフィルター付きデイナイト)を組み合わせることができます。M73は、ハードウェアとソフトウェアに関して最高の堅牢性で設計されており、いかなる追加のアクセサリ無しで、耐候性のカメラハウジング(IP66、IK07、全ての天候条件においても利用可能)を持っています。1つまたは2つの光学センサーモジュールが1つのM73で利用可能です。

120dBトリプルシャッター ワイドダイナミックレンジ機能に加え、MOBOTIX M73 IoTカメラは、低照度環境下でも、または赤外線投光器の使用によって高解像度の白黒画像を供給できる自動制御の赤外線カットフィルター付高解像カラー画像センサーモジュールを提供します。最大の視感効率と暗視のために、追加の赤外線スポットライトの有無にかかわらず、特に屋外では、MOBOTIXは赤外線フィルター無しの4K UHD解像度の白黒センサーの使用をお勧めします。

分離したデイセンサーとナイトセンサーモジュールを自動で切り替えるデイナイトを搭載したM73は、全ての条件下で最適な画質が求められる場合の一番の選択です。



ワイドダイナミックレンジの動作:

この機能により、M73はバックライトまたは非常に困難な露光条件の際でも使用が可能になります。可能な限り短時間で異なる露光時間の3つの画像を撮影し1つの画像として表示することを目的としています。これは非常に暗いエリアを明るくしたり、明るいエリアを暗くします。その結果、全ての照度範囲において詳細な部分も素晴らしく鮮やかな画像となります。

もちろん、M73は、MOBOTIXが期待を寄せる高度なサイバーセキュリティスタンダードを満たしています。使用されているカメラのファームウェアは、MOBOTIXが開発しており、Mx6シリーズのファームウェアをベースにしています。これは、独立した侵入テストにより、セキュリティのために最適化されてきているものです。同様に、M73で利用可能で、ファームウェアに統合されているMOBOTIXのアプリケーションのテクノロジーパートナー(AI Tech、Visage Technologies)のAIやディープラーニングのアプリケーションはテストされ、サイバーセキュリティに関するMOBOTIXによる認定を受けています。



2つのカラーバリエーション(壁付けマウントとカメラのフロントパネル上で白またはグレーのアクセント)で採用されているモジュールデザインにより、M73は、以前からの他のMOBOTIXカメラよりも多様でフレキシブルです。その他の優位性としては、壁付と支柱付けのマウントが時間を短縮しコストを抑えるということです。新しい簡単プラグクイック留具により、アルミニウムの壁付けブラケットを付けたM73は、事前に組み立てられているマウントプレートに取り付けられた拡張ボックスのコネクターに容易に取り付けられます。それは耐候性がありネットワークに接続されており、2つのネジでしっかりと締められています。M73は、ネットワークケーブル経由で直接電源を取り、IEEE802.3at PoE+/High Power POE スタンダードに適合して供給される必要があります。



分散型エッジカメラとして、M73は実質的に価値の有るシステムの優位性を提案します。: 中央にサーバーを必要とせず、業界スタンダードの統合フラッシュメモリーカード(標準で8GBカード)により、中央に録画のためのデバイスはありません。これにより、純粋なMOBOTIXソリューションは容易に拡張でき、ビデオシステム全体の設置やメンテナンスの際の時間と労力を節約できます。サイバーセキュリティ、信頼性と長寿命、追加のハードウェアの必要性を低減するために設計されたドイツ製の素晴らしい品質(MTBF 80,000時間)により、不具合の主な原因、全体的な投資、またはメンテナンスコストが大幅に削減されます。



加えて、M73は、H.264、H.265、MxPEG+、MJPEGのコーデック、トリプルストリーミング、ONVIF Profile SとTをサポートすることで多くのフレキシビリティを提供します。ONVIF Profile SとT、H.265は、現在リリースされている全てのM73カメラ用の無料ファームウェアアップデートの後、2020年Q2に利用可能となります。



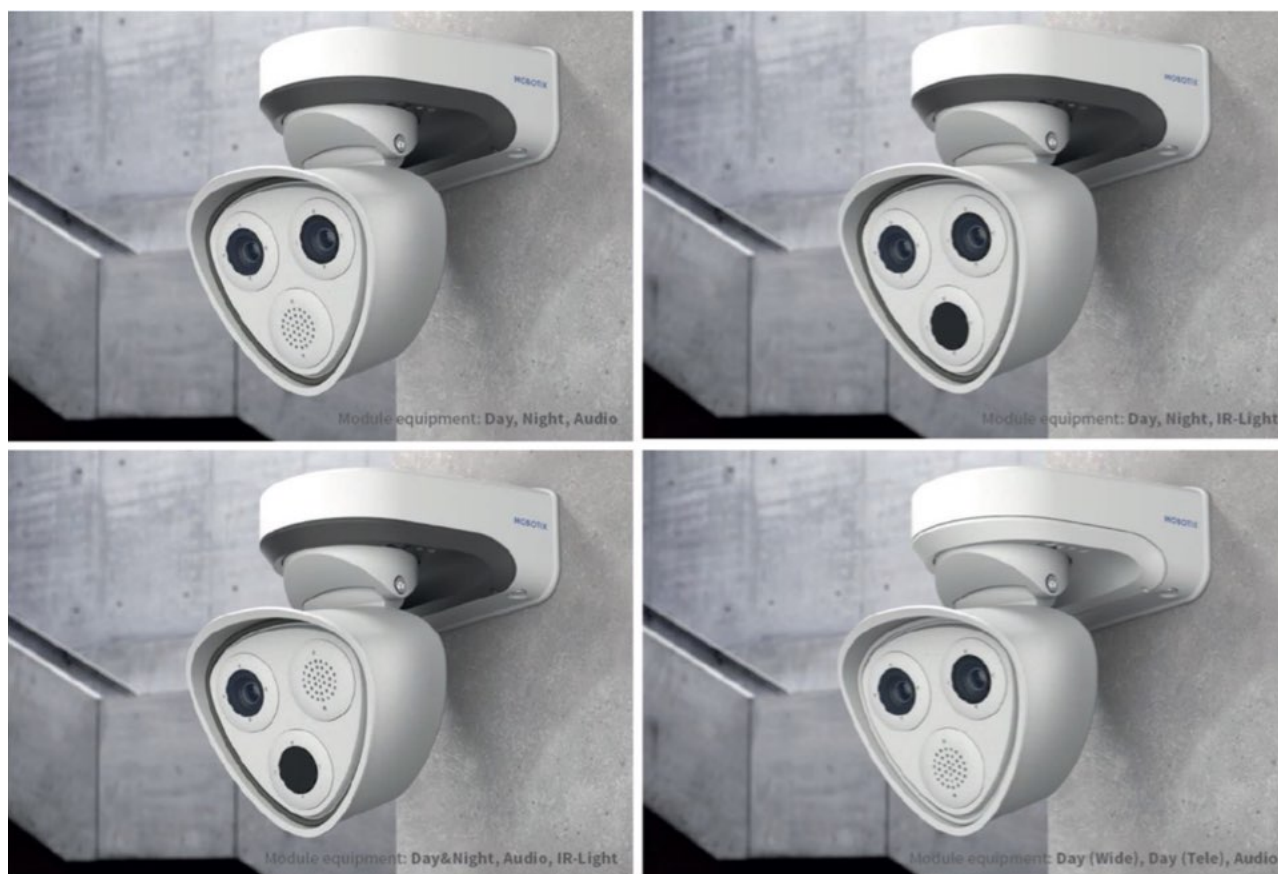
MOBOTIX M73 - セキュリティ業界には無いような、傑出したトータルパッケージ:

- ・ 最大3種類のセンサーまたは拡張モジュールのフレキシブルな組み合わせで、モジュール性が高まる
- ・ 最もフレキシブルなコーデックサポートを備えたプラットフォーム
- ・ サードパーティーのVMSにシンプルに統合可能なONVIF準拠
- ・ MOBOTIX 7、MOBOTIX Appにより非常にフレキシブルで、無限の可能性!
- ・ 最高レベルのサイバーセキュリティと高い堅牢性!

概要: MOBOTIX M73の最重要テクニカルデータ

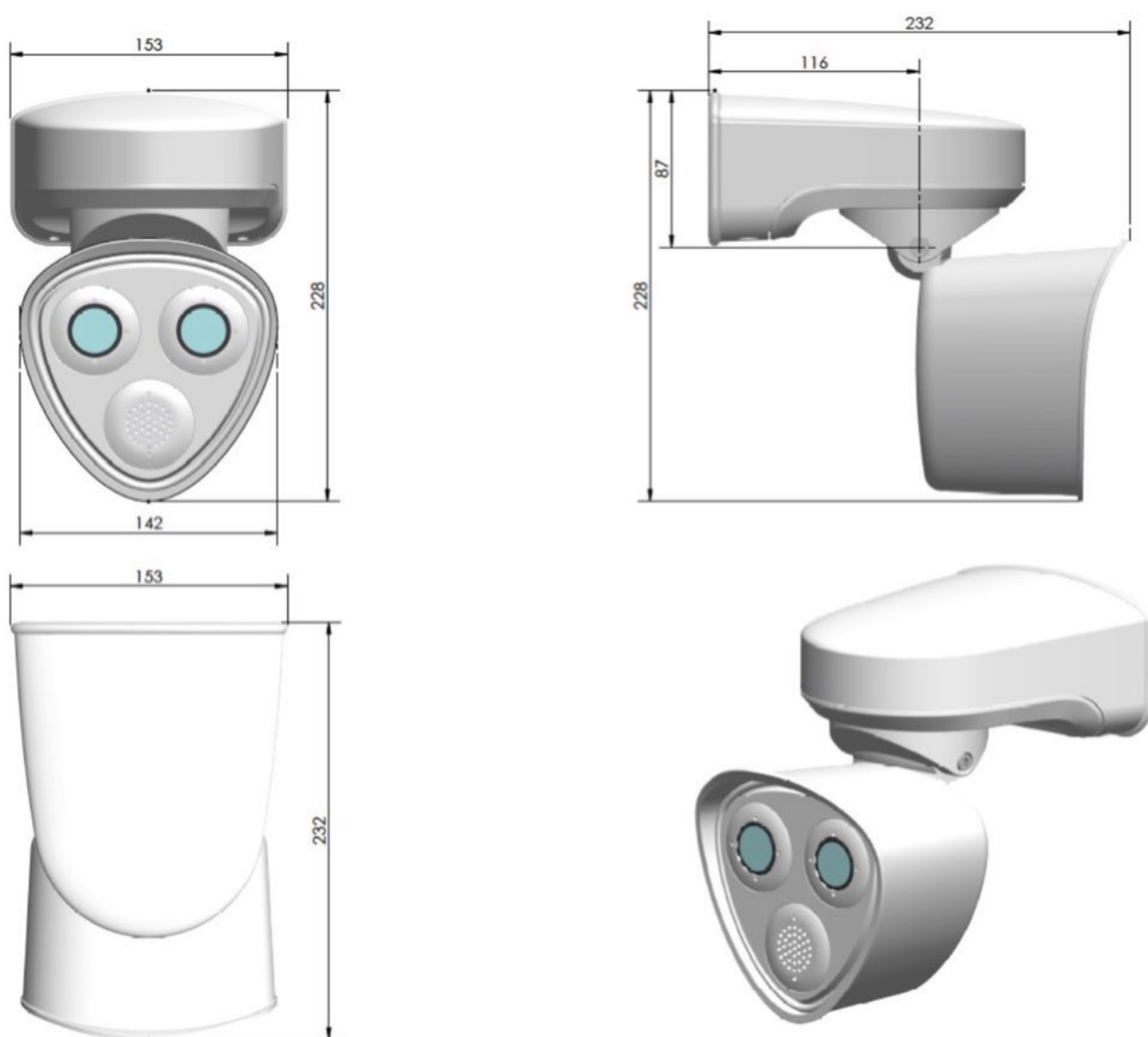
MOBOTIX M73 SP	
	
カメラタイプと特徴	<p>2種類の耐候性(IP66)固定ネットワークカメラ(ボディ)、別注文可能な4K UHD画像センサーモジュール(デイ、ナイトまたはデイナイト用に最適化された)とフロントパネルに簡単挿入できる別途注文可能な拡張モジュール(当初は3種類、要望通りに取り付け可能)によるモジュラーデザイン、USB-C同様の接続プラグの付いたカメラに事前に取り付けられているMOBOTIXセンサーケーブル経由でのモジュール接続</p> <ul style="list-style-type: none"> - 壁付またはボールマウント(ボール径 Φ60 ~180mm) - 危険区域(防爆エリア)での使用不可
名称	MOBOTIX M73
M73 種類と注文型番	<p>現在発注可能:</p> <p>M73ボディ+統合RJ45接続ボックス(白-グレイ): Mx-M73A-RJ45-wg M73ボディ+統合RJ45接続ボックス(白-白): Mx-M73A-RJ45</p> <p>注意: カメラの防水接続のために、パヨネットヒューズの付いたオリジナルのMOBOTIX/パッチケーブルが必要です。(M73出荷時同梱の0.5m長)</p> <p>2020年Q1販売予定:</p> <p>M73ボディ+統合LSA接続ボックス(白-グレイ): Mx-M73A-LSA-wg M73ボディ+統合LSA接続ボックス(白-白): Mx-M73A-LSA</p> <p>注意: LSAバージョンでは、8本の独立したネットワークケーブルが、ハンダ無し、ネジ無し、ストリップ無しの絶縁変位終端(LSAまたはIDC、絶縁変位コンタクト)を介してカメラに直接接続されます。</p>
オプションマウントアクセサリ	ボールマウント (Mx-M-PM-M73)
拡張モジュール(別注文可能)	<ul style="list-style-type: none"> - 赤外線投光器モジュール、赤外線投光850nm、3種類: 広角、標準、望遠 - オーディオモジュール(マイク、スピーカー)、2020年Q1 - Multisense モジュール(赤外線パッシブセンサー、温度、光度、ノイズ)、2020年Q2 <p>全ての拡張モジュールはカメラのフロントパネルに設置され、既存のユニバーサルセンサーケーブルに接続され、M73経由で電源供給されます。</p>
オプションモジュール(別途注文可能)	<ul style="list-style-type: none"> - 4K UHD デイ(赤外線フィルター付カラーセンサー) - 4K UHD ナイト(赤外線フィルター付白黒センサー) - 4K UHD デイナイト(デイナイト、自動赤外線カットフィルター切り替え付カラーセンサー) <p>MOBOTIXは、夜間での白黒画像とデイナイトセンサーモジュールの夜間映像を改善するために赤外線投光器モジュールまたは個別の赤外線投光器の使用を推奨します。</p> <p>全ての種類で:</p> <ul style="list-style-type: none"> - 広角/標準/望遠、画角(水平x垂直): 95°x 50°/45°x 25°/15°x 8.5° - トリプルシャッターハイエンドワイドダイナミックレンジ(120dB)
画像センサー(カラーまたは白黒)	4k UHD、3840 x 2160 ピクセル(8.3メガピクセル)、16:9ネイティブ画像
最大フレームレート	30fps@4K (H.264)、20fps@4K (MxPEG+)、最大フレームレートは、ワイドダイナミックレンジの有無にかかわらず生成

解像度	VGA 640x480、VGA (16:9) 640x360、XGA 1024x768、HD 1280x720、FullHD 1920x1080、QXGA 2048x1536、5MP 2592x1944、Ultra HD 3840x2160 (=4K)、カスタムサイズ
デイ/ナイト	デイとナイトセンサーモジュールまたは可動ブロックフィルター付デイナイトモジュールを自動で照度によるデイ・ナイト切り替え
レンズ、口径	固定フォーカルレンズ付プレミアムレンズ、f/1.8、工場出荷時にピント合わせ済み
ビデオコーデック	トリプルストリーミングでH.264とH.265(2020年Q2)、MxPEG+、MJPEG
ONVIF	Profile S (Profile T 2020年Q2)
保護等級	IP66、IK07 (M73ハウジングと光学及び拡張モジュール)
環境温度	-40℃~+65℃、-30℃からコールドスタート可能
ポート	接続ボックスのRJ45ポートまたはLSA絶縁変位終端経由、3x 画像センサーまたは拡張モジュール、1x 入力、1x 出力、外部オーディオデバイス用ラインイン/アウト*、1x miniUSB *2020年Q1のファームウェアアップデートでソフトウェアサポート
認定	EN55032、EN55035、EN50121-4、EN61000-6-1、EN 61000-6-2、EN 61000-6-2、EN61000-6-3-3、EN61000-6-4-4、WIE/NZS CISPR3、CFR47 FCC Teil 15B、EN62368; NRTL
電源	PoE IEEE802.3at、Class 4、最大消費電力 25W
内蔵DVR(同梱)	8 GB microSDカード (壁付マウントに取り付け、MxPEG+コーデックのみ保存)
寸法 M73 (高さx幅x奥行き)	228 x 153 x 232mm、M73の重量(モジュール無し): 約2,000g
ハウジング	アルミニウム(ウォールブラケット)とガラス繊維強化UV耐性プラスチック(PBT-30GF)
出荷範囲	M73カメラ(センサーモジュール無しのボディ)、8 GB microSD、0.5m スペシャルプラグ付イーサネットパッチケーブル、ダミーモジュール、ツール付マウント部品、マウント説明書
MTBF	80,000時間
プロトコル	DHCP (クライアントとサーバー)、DNS、ICMP、IGMP v3、IPv4、IPv6、HTTP、HTTPS、FTP、FTPS、NFS、NTP (クライアントとサーバー)、RTP、RTCP、RTSP、SIP (クライアントとサーバー)、SMB/CIFS、SNMP、SMTP、SSL/TLS v1.3、UDP、VLAN、VPN、Zeroconf/mDNS
画像解析	MxAnalytics AI、MxActivitySensor (AIバリエーション 2020年Q2から)、ビデオモーション検知、プリインストールカメラアプリケーション
カメラファームウェア	バージョン 7.0.x.x.から (MOBOTIX 7 or MOBOTIX M73のみ)
MOBOTIX App (MOBOTIXから直接またはMOBOTIXテクノロジーパートナーから)	○、カメラファームウェアに統合済、30日間無料デモライセンスアプリケーション、MxManagementCenter 2.2(既に利用可能)経由でライセンスアクティベート、カメラファームウェア経由で運用と設定
MxMessageSystem	○、MOBOTIX Appにより生成されたメッセージを使用してイベントとアクショングループをトリガーするために使用
MOBOTIX VMS ソフトウェア	MxMC バージョン 2.2以降とMxBell App バージョン 2.1以降(Android/iOS)
保証	3年、最長8年まで延長可能オプション



MOBOTIX M73: カメラ、光学、アクセサリ

製品番号	詳細	受注開始
Mx-M73A-RJ45	M73 ボディ、RJ45接続ボックス(白)	受注開始済
Mx-M73A-RJ45-wg	M73 ボディ、RJ45接続ボックス(白-グレー)	受注開始済
Mx-M-PM-M73	M73用ポールマウント、ポール径 Φ60~180mm	受注開始済
Mx-O-M7SA-8DN050	95° 4K UHD デイナイト・センサーモジュール 広角	受注開始済
Mx-O-M7SA-8DN100	45° 4K UHD デイナイト・センサーモジュール 標準	受注開始済
Mx-O-M7SA-8DN280	15° 4K UHD デイナイト・センサーモジュール 望遠	受注開始済
Mx-O-M7SA-8D050	95° 4K UHD デイ・センサーモジュール 広角	受注開始済
Mx-O-M7SA-8D100	45° 4K UHD デイ・センサーモジュール 標準	受注開始済
Mx-O-M7SA-8D280	15° 4K UHD デイ・センサーモジュール 望遠	受注開始済
Mx-O-M7SA-8N050	95° 4K UHD ナイト・センサーモジュール 広角	受注開始済
Mx-O-M7SA-8N100	45° 4K UHD ナイト・センサーモジュール 標準	受注開始済
Mx-O-M7SA-8N280	15° 4K UHD ナイト・センサーモジュール 望遠	受注開始済
Mx-F-IRA-W	赤外線投光器 広角、広角レンズ 95°	受注開始済
Mx-F-IRA-S	赤外線投光器 標準、標準レンズ 45°~60°	受注開始済
Mx-F-IRA-T	赤外線投光器 望遠、望遠レンズ 15°~30°	受注開始済
Mx-F-AUDA	M73用オーディオモジュール(マイク、スピーカー)	2020年Q1予定



M73: 寸法 mm



左から右: 画像センサーモジュール、赤外線投光器モジュール、オーディオモジュール、ポールマウント

3. MOBOTIX 7 システムプラットフォーム用にカメラに統合されたアプリケーション

MOBOTIX 7 システム プラットフォームのオープン性は、最大の個性を提供します。結合性と拡張性により、ユーザーはビデオシステムで要件を満たさなければならない場合には、アプリケーションを使用できます。多種の認定アプリケーションはMOBOTIX M73カメラにプリインストールされており、**30日間無料で試用**できます。MOBOTIX自身やA.I.TechやVisage Technologiesのような著名なアプリケーションパートナーが開発した全ての認定アプリケーションは、MOBOTIXによって全て検証され認定されています。また、それらは高度なサイバーセキュリティの要件も満たしています。アプリケーションの選択肢は着実に増えていくでしょう。認定アプリケーションのためのライセンスはMOBOTIXの代理店から直接取得することができます。



アプリケーションの設定と運用は、ブラウザ上でM73のカメラファームウェア経由で可能です。

M73のカメラファームウェアに統合されている全てのアプリケーションの現在の概要	
 <p>MxAnalytics AI 信頼性のある、オブジェクトベースのカウンティングと行動検知</p>	 <p>AI-Bio 店舗における顧客と在庫管理としての顧客/訪問者の性別、年齢、滞在時間のバイOMETリック解析</p>
 <p>MxActivitySensor AI 信頼性のある、天候、照度に影響を受けないオブジェクトベースのモーション検知</p>	 <p>AI-Fire 屋内/屋外での炎の早期検知(例: 車両、コンテナ) サーマルセンサー不要</p>
 <p>AI-People バーチャルラインを通る人数カウント(例: ドア/通路)</p>	 <p>AI-Smoke 屋内と屋外での煙検知 サーマルセンサー不要</p>
 <p>AI-Intrusion-PRO 侵入者の一連のバーチャルライン横断を表示 複数ライン設定で侵入防止システムの信頼性向上</p>	 <p>AI-Lost 所在不明の荷物やその他のオブジェクト(例: ゴミ)、オブジェクトの移動(例: 美術館の絵画)を検出</p>
 <p>AI-Heat 画像内の人が滞在した時間により、最も滞留したエリア(ホットスポット)と密集度が低い場所(デッドエリア)を分類</p>	 <p>AI-Loitering 長時間特定のエリアに滞在する人の疑わしい行動の検知</p>
 <p>AI-Crowd 混雑したエリアの人数を評価、特に列に並ぶ状況を認識</p>	 <p>AI-Road3D 交通監視: 車両の検知、追跡、カウント(行動、交通密度、タイプ[トラック、乗用車、自転車]) 速度超過の車両特定</p>
 <p>AI-Overcrowd ユーザー定義の混雑エリア(人数)を識別</p>	 <p>AI-Incident 交通監視: 歩行者の存在、停止車両、列または逆走車両</p>
 <p>AI-Occupancy 定義されたエリアで"ホットスポット"と"デッドエリア"を検知</p>	 <p>AI-Spill 人が地面に倒れて動かないときの状況を検知</p>
 <p>AI-Overoccupancy 定義されたエリア内の占有率を識別し、過剰占有ゾーンを検知</p>	 <p>Visage Technologies FaceRecognition 蓄積された画像データによる"生存している"人の顔認証 アクセスコントロールアプリケーションと97%の正確性</p>
 <p>AI-Parking 車両の区別 その駐車スペースか何台分のスペースが空いているか埋まっているかを識別</p>	

MxAnalyticsとMxActivitySensorは、ライセンス無しで永続的に使用可能です。アクティベートの必要はありません。

各マーケットにおいて、アプリケーションは効果的にご使用いただけます。(例):

	エネルギー/採掘	製造業	行政	交通	小売	ヘルスケア	教育
MxAnalytics AL				•	•		
MxActivitySensor AI	•	•	•	•	•	•	•
AI-People		•	•		•	•	•
AI-Crowd			•		•		•
AI-Overcrowd			•		•		•
AI-Occupancy				•	•		•
AI-Overoccupancy				•	•		•
AI-Intrusion PRO	•	•	•		•	•	•
AI-Loitering	•	•	•	•	•		•
AI-Lost			•	•	•	•	•
AI-Fire	•	•	•	•	•	•	•
AI-Smoke	•	•	•	•	•	•	•
AI-Road 3D				•			
AI-Incident				•			
AI-Parking				•	•		•
AI-Bio		•	•	•	•	•	
AI-Spill				•		•	
Visage Techn. FaceRecognition	•	•	•	•	•	•	•

M73用MOBOTIXアプリケーションのスペシャルアプリケーションパッケージ(バンドル):

個々のアプリケーションは、多くの産業の特定の要求に答えるために開発されました。全てのアプリケーションは、個別または併せてご注文、ご利用いただけます。特定の要求のためにアプリケーションパッケージ(バンドル)を用意しています。アプリケーションバンドルは、1台のカメラで並行して運用可能であることは保証されています。その他のアプリケーションのコンビネーションのためには、事前にチェックをする必要があります。

注意: バンドルご注文の際は、個々に注文するより価格面において優位性があります。

セキュリティアプリケーションバンドル	交通アプリケーションバンドル	小売アプリケーションバンドル	火災&煙アプリケーションバンドル
AI-Intrusion-PRO	AI-Road3D	AI-People	AI-Fire
AI-Loitering	AI-Incident	AI-Heat	AI-Smoke
AI-Lost		AI-Occupancy	
		AI-Overoccupancy	
		AI-Crowd	
		AI-Overcrowd	

アプリケーションとバンドルを購入してアクティベート - 簡単:

多くのアプリケーションのライセンスまたはアクティベーションIDは、MOBOTIXカメラのアプリケーションとしてMOBOTIXの代理店から購入できます。MOBOTIXアプリケーションのライセンスは、K.J.フェローの代理店にMOBOTIXオンラインポータルからEメールで直接送られます。アプリケーションのアクティベーションは、無償のビデオマネジメントソフトウェアであるMxManagementCenter(バージョン2.2以降)で行うことができます。パートナーまたはエンドユーザーは、アプリケーションのライセンスが無期限の場合に、そのライセンスをストックしておくことができます。これは全てのA.I. Techのアプリケーションとリストに有るバンドルに適用されますが、Visage Technologies Face Recognitionアプリケーションには適用されません。こちらは12または24ヶ月間となります。

新しいMOBOTIX認定アプリケーションとバンドル		
製品番号	詳細	受注開始
Mx-APP-AI-PEO	AI-People 認定アプリケーション(無期限ライセンス)	受注可能
Mx-APP-AI-HEA	AI-Heat 認定アプリケーション(無期限ライセンス)	受注可能
Mx-APP-AI-OCC	AI-Occupancy 認定アプリケーション(無期限ライセンス)	受注可能
Mx-APP-AI-OVERO	AI-Overoccupancy 認定アプリケーション(無期限ライセンス)	受注可能
Mx-APP-AI-CRO	AI-Crowd 認定アプリケーション(無期限ライセンス)	受注可能
Mx-APP-AI-OVER	AI-Overcrowd 認定アプリケーション(無期限ライセンス)	受注可能
Mx-APP-AI-BIO	AI-Bio 認定アプリケーション(無期限ライセンス)	受注可能
Mx-APP-AI-INTP	AI-Intrusion 認定アプリケーション(無期限ライセンス)	受注可能
Mx-APP-AI-LOS	AI-Lost 認定アプリケーション(無期限ライセンス)	受注可能
Mx-APP-AI-LOI	AI-Loitering 認定アプリケーション(無期限ライセンス)	受注可能
Mx-APP-AI-FIRE	AI-Fire 認定アプリケーション(無期限ライセンス)	受注可能
Mx-APP-AI-SMO	AI-Smoke 認定アプリケーション(無期限ライセンス)	受注可能
Mx-APP-AI-SPI	AI-Spill 認定アプリケーション(無期限ライセンス)	受注可能
Mx-APP-AI-ROA3	AI-Road3D 認定アプリケーション(無期限ライセンス)	受注可能
Mx-APP-AI-INC	AI-Incident 認定アプリケーション(無期限ライセンス)	受注可能
Mx-APP-AI-PAR-D	AI-Parking 認定アプリケーション(無期限ライセンス)	受注可能
Mx-APP-AI-B-SEC	セキュリティアプリケーションバンドル: AI-Intrusion PRO、AI-Loitering、AI-Lost 認定アプリケーション(無期限ライセンス)	受注可能
Mx-APP-AI-B-TRA	交通アプリケーションバンドル: AI-Road3D、AI-Incident(無期限ライセンス)	受注可能
Mx-APP-AI-B-RET	小売アプリケーションバンドル: AI-Fire、AI-Heat、AI-Occupancy、AI-Crowd、AI-Overcrowd(無期限ライセンス)	受注可能
Mx-APP-AI-B-FIR	火災&煙アプリケーションバンドル: AI-Fire、AI-Smoke(無期限ライセンス)	受注可能
Mx-APP-VS-FR-1	Visage Technologies Face Recognition 認定アプリケーション、1年ライセンス	受注可能
Mx-APP-VS-FR-2	Visage Technologies Face Recognition 認定アプリケーション、2年ライセンス	受注可能

MOBOTIXカスタムアプリケーション - 自身のアプリケーションで始めましょう:

MOBOTIX 7プラットフォームで、パートナーやユーザーは、MOBOTIX ソフトウェア開発キット(SDK)をもとに自身のソリューションを開発、プログラムして、特別な要求に対してのカスタムのアプリケーションとしてご利用いただけます。MOBOTIXによって認定された自身のカスタムアプリケーション(認定は有料)があれば、それを世界中のMOBOTIXコミュニティに認定アプリケーションとして提供することも可能です。魅力的なアプリケーションで、開発者は、付加的な収入を得ることができます。自身のビジョンを現実に変えましょう。画像解析のアイデアのために、MOBOTIX 7プラットフォームのインフラを利用しましょう。

概要: カスタムアプリケーションプログラム用MOBOTIX SDK

主な機能(最初のリリース)

- 同期*&非同期アプリケーション
- 画像ソース: VGA解像度+現行のライブ画像解像度
- フルハードウェアアクセス
- MxMessageSystemのサポート(MOBOTIXイベント、ハンドリング、録画にアクセス、FTP、Eメール、IP-notifyなどのようなコミュニケーションプロファイルを使用)
- オーバーレイのサポート

展望(最新のSDKの拡張を計画中)

- FPGA アクセス*
- ニューロンネットワークサポート*
- ONVIF イベントサポート
- オーディオ機能にアクセス

競合との違い

- フルハードウェアアクセス*
- CPU、GPU*、FPGA*
- フラッシュメモリー、SDカードパーティション
- カメラのデバッグ*
- オーバーレイのサポート
- メタデータを介した最終画像処理**
- メタデータのサポート**
- 画像ヘッダーへのバイナリーデータの追加 (サーマル生画像と同等)
- 画像録画と共にメタデータを保存
- 自動生成コンフィギュレーション**
- MxMCとカメラウェブインターフェイス用自動生成ユーザーインターフェイス
- JSONスキーマに基づく

- カメラシミュレーション/テスト環境**
- 付加デバッグツールの使用可能なPC上でのテストコード

SDKパッケージ

SDKは、複雑な設定行程無しですぐに利用可能です。パッケージ内容は下記の通り

- プリコンフィグ仮想マシン(クロスコンパイラーなど)
- 容易に利用できるソフトウェア開発キット

CPU

- クアッドコアARM Cortex-A53(最大1,300MHz)
- Mali-400 MP2 (最大662Mhz)
- 64ビットインターフェイス接続4GB DDR4 メモリー

FPGA

- 88000 CLB LUTs
- 4.5 Mbit Block RAM
- 1.5GB DDR4 メモリー

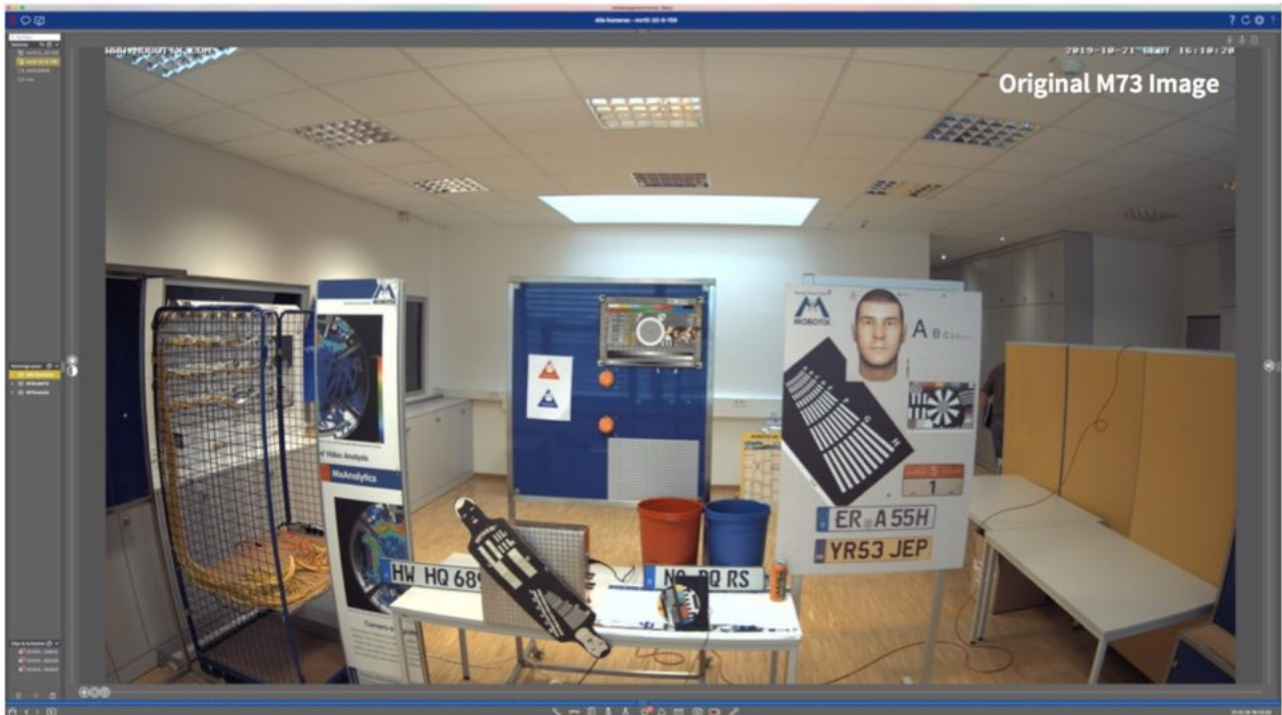
スタート:

このSDKのコードサンプルと詳細に関しては、下記にコンタクトしてください。: apps@mobotix.com (英語)

* MOBOTIX認定アプリケーション専用

**今後のソフトウェア拡張で可能なMOBOTIX認定アプリケーションの場合のみ

4.MxManagementCenter(MxMC)バージョン2.2



MxManagementCenter(MxMC)は、WindowsとmacOS用の、パワフルで直感的なMOBOTIXのビデオマネジメントシステムです。標準の装備は、毎回の新しいリリースバージョンで更に拡張されていますが、既に最上位の装備を持っているMxMC(基本バージョン)は、完全に無償で提供されます。最新バージョンのMxMC 2.2は、価値のある新しい機能を提供し、無償でダウンロード可能です。MxMC 1.7以降でアクティベートされている全てのライセンスは、MxMC 2.2にアップグレード時に、自動的に移行されます。

MxMC 2.2の最重要新機能:

- MOBOTIX 7 プラットフォームと4K画像表示を含むM73のサポート/統合
- 1台のM73の全てのMOBOTIX認定アプリケーションのためのライセンス管理 (アプリケーションのライセンスをアクティベーションするために、M73はMxMC2.2に統合されている必要があります。)
- 先進のコンフィグライセンス、無償 - M73とVisage Technologies Face Recognition(顔認証)アプリケーションのコンフィグ含む
- Hemispheric(半球)ビデオシーケンスのエクスポートとその後の画像補正 (標準画像と共にポスト補正した画像またはパノラマ画像)
- ダイレクトSD/USB/SSDアクセス: MxMC2.2がインストールされているコンピュータで、MOBOTIX IoTカメラの内部ストレージメディアを読み込む - 理想的には、例えば、ネットワーク接続環境が無い遠隔カメラなどで、カメラを取り外すことなく録画メディアを読み込むことができる

MOBOTIX IoTカメラの設定: アドバンス設定ライセンスが無償に！



MxMCに統合されている設定ソリューションの大きな優位性は、全体のカメラグループの設定を確認、変更するためにブラウザで各々のカメラを開く必要がなくなるということです。設定ビューで設定可能です。例えば、同時に最大80台のカメラのグループのアーミングを使用可能にすることができます。あるいは、日常の保守及びコントロール作業中にマイクのオン/オフのようなデータ保護に関連するカメラ設定のステータスを確認し、必要に応じて直接調整できます。アドバンス設定により、ファームウェアで可能な全てのカメラ設定の4分の3が、MxMCで直接設定することができます。システムのサイズによって、数時間の作業が節約できます！



MxMC2.2の設定ビューは、MOBOTIX 7プラットフォームのカメラ、Mx6プラットフォーム(x16/x26)と、P3プラットフォーム(x14/x15とx24/x25)で、無償の最新ファームウェアバージョンで利用可能です。MxMCに統合されているONVIF-Sカメラ(MOBOTIX MOVEまたはサードパーティーカメラ)は、MxMCでは設定できません。

アクティベートされたアドバンス設定ライセンスと対応する管理者権限を持つことで、ユーザーはMxMC2.2の設定ビューで、MOBOTIX認定アプリケーションであるVisage Technologies Face Recognitionの設定が可能になります。これにより、顔のデータ(ホワイトリスト、ブラックリスト)-暗号化されたフォームでカメラに保存されている-と同様に個々のアプリケーション設定を、1台のM73から、アクティベートされた顔認証アプリケーションを持つ何台ものM73に、数秒で伝送できます。



左下のビュー選択でMxMC設定ビューにアクセスできます。そうすると、基本設定(常に利用可)と、グレーのタイルに保存されているアドバンス設定にアクセスできます。ブラウザとカメラファームウェア経由でのみアクセス可能です。

MxMCライセンスのアクティベート(MOBOTIXから無償で提供されるアドバンス設定ライセンスに適用)

MxManagementCenter用のライセンスとアクティベーションIDは、MOBOTIXの代理店から購入可能です。MOBOTIX MxMCライセンスは、K.J.フェローの代理店にMOBOTIXオンラインポータルからEメールで直接送られます。

MxManagementCenter Version 2.2 WindowsとMac OS用ライセンス		
詳細	製品番号	受注開始
MOBOTIXビデオマネジメントソフトウェア MxManagementCenter(MxMC) ・ Version 2.2 (Windows 8以降)或いはMacOS(10.12以降)・日本語パック・システム要件: 2GHzプロセッサ以上、RAM 2GB以上、OpenGL V2.1サポートのビデオカード	Mx-SW-MC	受注開始済
MxMC アドバンス設定ライセンス MxMCワークステーション(MxMC 2.0)でアドバンス設定を利用・使用期限無、ワークステーション毎のユーザー無制限	Mx-SW-MC-ADCON	受注開始済
MxMC スマートデータ ライセンス 1外部データソース(スマートデータソース)を1つのMxMCワークステーションに接続(MxMC2.1時点)・使用期限無、ワークステーション毎のユーザー無制限	Mx-SW-MX-SDATA	受注開始済
MxMC POSシングルキャッシュポイントライセンス キャッシュレジスターをMxMCワークステーション(MxMC 1.7以降)に接続するためのライセンス、使用期限無、ユーザー無制限	Mx-SW-MC-POS	受注開始済
MxMC 統合スターターライセンス ライブ画像、再生、エクスポート用MxMCワークステーション(MxMC 2.0)でのH.264の一般使用のためのライセンス	Mx-SW-MC-STARTER	受注開始済
MxMC 統合チャンネルライセンス MxMCワークステーション(MxMC 2.0)で外部ONVIF-S対応IPカメラからの追加ビデオチャンネル使用のためのライセンス	Mx-SW-MC-CHAN	受注開始済
MxMCアドバンスサービスライセンス 1年 MxMCワークステーション(MxMC 2.0)でアドバンスシステムサービスとMxMCヘルスチェック使用のためのライセンス・有効期限1年/12ヶ月ワークステーション毎ユーザー無制限	Mx-SW-MC-AS-1	受注開始済
MxMCアドバンスサービスライセンス 2年 有効期限2年/24ヶ月・ワークステーション毎ユーザー無制限	Mx-SW-MC-AS-2	受注開始済
MxMCアドバンスサービスライセンス 5年 有効期限5年/60ヶ月・ワークステーション毎ユーザー無制限・外部ライセンスポータル経由でダウンロード(データへのアクセス要)	Mx-SW-MC-AS-5	受注開始済

お問い合わせ先：MOBOTIX JAPAN（モボティックス ジャパン）

e-mail：cam-sales@mobotix.jp

www.mobotix-japan.net

MOBOTIX AGについて：

MOBOTIX AGは、1999年にドイツ・カイザースラウテルンで、Dr.Ralf Hinkelにより創業された、ネットワークカメラ・システム開発製造会社です。全てのMOBOTIXネットワークカメラは、ドイツ本社工場で製造されています。

www.mobotix.com

MOBOTIX JAPANについて：

MOBOTIX JAPANは、MOBOTIX AGの日本パートナーである株式会社K.J.フェローにより運営されています。

MOBOTIX JAPANは、MOBOTIXの日本総輸入販売代理店です。

www.mobotix-japan.net

K.J.フェローについて：

株式会社K.J.フェローは、2003年10月に創業。ネットワークカメラ、セキュリティ関連の海外製品の輸入販売、コンサルティング専門のIT&セキュリティ技術商社です。MOBOTIX JAPANを運営し、日本市場開拓を担っています。

www.kjfellow.com